

資料提供

月 日	担当館名	電 話	担当者
10 月 18 日	徳島県立近代美術館	tel: 088-668-1088 fax: 088-668-7198	吉川、安達

特別展「魅力発見！ わたしたちの美術館」の開催について

趣旨

この企画は、県民が様々なイベントに参加することを通じて、美術館に親しみ、新しい魅力を発見していただくとするものです。内容は、「所蔵作品のお気に入り投票作品による投票上位作品の展示」、「高校生の作品展示」、「ワークショップで制作作品の展示」という三つの部門から構成されます。

- 1 展覧会名** 特別展 「魅力発見！ わたしたちの美術館」
- 2 会期** 平成 23 年 11 月 15 日[火]ー12 月 25 日[日] (36 日間)
- 3 会場** 徳島県立近代美術館 展示室 3(2 階)
(徳島市八万町向寺山 <http://www.art.tokushima-ec.ed.jp/>)
- 4 観覧時間** 午前 9 時 30 分ー午後 5 時
休館日 月曜日
- 5 主催** 徳島県立近代美術館／徳島新聞社／四国放送
後援 NHK徳島放送局／エフエム徳島／徳島県文化振興財団
- 6 観覧料** 一般 200[160]円／高・大生 100[80]円／小・中生 50[40]円
[]内は 20 名以上の団体料金。
小・中・高生は土・日・祝日は無料。
高齢者(65 歳以上)、障害者割引(半額)は、受付でお申し出下さい。
特別展の観覧券で所蔵作品展もご覧いただけます。

7 関連事業

▼堀尾貞治氏によるワークショップ「あたりまえのこと」

11 月 27 日[日] 対象:親子

午前 10 時ー午後 4 時 展示室 3 他

12 月 11 日[日] 対象:一般(高校生以上)

午前 10 時ー午後 4 時 展示室 3 他

*いずれも申込不要、随時参加可能 要観覧券(小・中・高生は無料)

▼学芸員による展示解説

11 月 20 日[日] 午後 2 時-3 時 展示室 3 申込不要 要観覧券(小・中・高生は無料)

▼こども鑑賞クラブ

12月10日[土]

午後2時-2時45分 展示室3 小学生対象 申込不要、参加無料(保護者は要観覧券)

8 展示構成

この企画は次の三つの部門で構成されます。

1. 所蔵作品のお気に入り投票による人気上位作品の展示

昨年の12月から今年の7月にかけて、展示中の所蔵作品の人気投票を実施し、集計をおこなった結果、上位の作品を展示します。

主な出品作品:奈良美智<UNTITLED (BROKEN TREASURE)>(投票1位)、パウル・クレー<子どもと伯母>(投票2位)、今村源<わたしにキク>(投票3位)、河井清一<休み日>(投票4位)、長尾弘子<清晨>(投票5位)パブロ・ピカソ<ドラ・マールの肖像>(投票6位)など20点程度を出品予定。

*なお、アントニー・ゴームリー<天使の器Ⅱ>(投票7位)、パブロ・ピカソ<赤い枕の女>(投票8位)は「所蔵作品展 徳島のコレクション2011-Ⅲ」で展示しています。

2. 高校生の作品展示

近代美術館の収集方針の一つである「人間像」をテーマに高校生が作品を制作。県内の高校教諭、近代美術館学芸員らの審査を経た作品を最大30点程度展示します。

3. ワークショップ制作作品の展示

現代美術作家の堀尾貞治氏を講師に招いてワークショップを開催します。テーマは「あたりまえのこと」。身の回りのありふれた材料に参加者が手を加えることによって、驚くような世界が生み出されていきます。開催時間中にいくつかのワークショップを行い、作家自身の制作も交えながら、最終的に参加者が共同で展示作品を制作します。

展覧会前に徳島大学の留学生を対象にワークショップを開催し、展示作品を制作した後、会期中に親子、一般(高校生以上)を対象に開催します。

講師:堀尾貞治(ほりおさだはる)

1939年兵庫県出身。戦後日本美術を代表する前衛集団「具体」の元メンバー。1970年のグループ解散後も国内外で精力的に作品発表を続け、年間の展覧会数は100本近くに及ぶ。徳島では2000年に恰美術館で個展を開催している。

【問い合わせ】

徳島県立近代美術館 〒770-8070 徳島県徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園

担当:学芸課 吉川神津夫(よしかわみつお)、安達一樹(あだちかずき)

電話:088-668-1088 Fax:088-668-7198